

機関誌編集委員会(第3回)議事録

(平成26年9月4日(木) 慶應義塾大学三田キャンパス会議室 午前8時15分から9時)

出席 : 藤井義博(藤女子大学)、苗村育郎(秋田大学)、鈴木芳樹(新潟大学)、吉川弘明(金沢大学)、
久保田 稔(関西学院大学)、小倉俊郎(岡山大学)、宮田正和(福岡教育大学)
オブザーバー出席: 工藤欣邦(大分大学保健管理センター所長)

宮田委員長を議長として開会。事務局から配付の議事日程に従って議事を進行した。

1. 九州地方部会編集委員の交代について

九州地方部会宮田正和委員より明年4月より大分大学保健管理センター所長 工藤欣邦先生を後任として推薦する旨の説明があり、全員異議なく了承した。

なお、この件については平成27年6月の理事会に報告する。

2. CAMPUS HEALTH (2)の編集費削減について

・前回の委員会で決定した事項について、宮田委員長より下記の通り報告があった。

① 52(2)(平成27年5月発行予定)より優秀演題への投稿依頼を取りやめることについて、52回プログラム抄録集にその旨掲載した。

② 「一般投稿はホームページにある投稿用テンプレートを使用した原稿のみ受け付ける」と改定した投稿規定(2014年7月付け)をHPに掲載した。

③ 名誉会員には、51(2)送付時に「明年より(2)特集・論文集・協会彙報のみ送付する」旨通知し、同時に今後の送付希望の有無を確認した結果、約10名の辞退者があった。

また、原稿執筆者にも本誌送付希望の有無を確認し、希望者のみに送付した。

・“経費削減に関連した電子媒体化、Web化は将来的に必要であるが、本協会が会員校の会費によって運営されているという特殊性や、事例を扱うことが会員への有用な情報提供につながっているということを鑑みると、現状では紙媒体が必要であり、また、紙媒体以外の情報発信については、会員のメリットの保障、倫理的問題等について十分な議論が必要である”として、委員全員これを確認した。

3. CAMPUS HEALTH52(2)特集について

前回委員会で決定した次号特集テーマ「障がいのある学生へのサポート」について、苗村委員が執筆者を選定し宮田委員長、吉川副委員長に報告のうえ、9月末までに事務局より執筆依頼を行うことを全員異議なく了承した。

4. COI(利益相反)と倫理規定の遵守について

昨日の理事会で川村代表理事より「COIについてのワーキンググループ(専門委員)をつくる」との発言があったので、当委員会での検討はそれを待つこととした。

また、倫理規定については、当面の方法として、査読者に送付する査読結果回答書にチェック項目を記載し、査読者による倫理的チェックの徹底をお願いすることとし、全員異議なくこれを了承した。

(追加事項)

後日川村代表理事より下記の通り意見があった。

「COIについてはワーキンググループをつくる必要はなさそうなので、内科学会の規定を多少修正し本協会のCOI規定(案)とし提示する」

以上